平成26年３月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年２月４日

上 場 会 社 名　　株式会社リーガルコーポレーション　　上場取引所　東
コ ー ド 番 号　　7938　　URL http://www.regal.co.jp
代　　表　　者　(役職名)　代表取締役社長　　(氏名)　岩崎　幸次郎
問合せ先責任者　(役職名)　常務取締役　管理本部長　(氏名)　安田　直人　　(TEL) 047-304-7084

四半期報告書提出予定日　　平成26年２月14日　　配当支払開始予定日　　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　　：無
四半期決算説明会開催の有無　　：無

(百万円未満切捨て)

１．平成26年３月期第３四半期の連結業績（平成25年４月１日～平成25年12月31日）

（１）連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年３月期第３四半期	27,097	2.3	2,296	14.0	2,502	3.9	1,123	△31.7
25年３月期第３四半期	26,500	2.7	2,015	6.5	2,407	19.1	1,645	11.1

(注) 包括利益　26年３月期第３四半期　2,359百万円(　34.7%)　25年３月期第３四半期　1,751百万円(　△2.4%)

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年３月期第３四半期	36.94	36.73
25年３月期第３四半期	55.05	54.77

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年３月期第３四半期	29,914	12,501	41.4
25年３月期	30,126	12,275	40.4

(参考) 自己資本　26年３月期第３四半期　12,399百万円　　25年３月期　12,185百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年３月期	－	0.00	－	5.00	5.00
26年３月期	－	0.00	－		
26年３月期(予想)				5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：無

３．平成26年３月期の連結業績予想（平成25年４月１日～平成26年３月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	37,000	2.4	2,650	8.7	2,850	2.0	1,350	△36.3	44.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：有

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動　　：無

（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

新規　　－社（社名）　　、除外　　－社（社名）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：無

②　①以外の会計方針の変更　　：無

③　会計上の見積りの変更　　：無

④　修正再表示　　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年３月期３Ｑ	32,500,000株	25年３月期	32,500,000株
②　期末自己株式数	26年３月期３Ｑ	931,369株	25年３月期	2,618,127株
③　期中平均株式数（四半期累計）	26年３月期３Ｑ	30,419,544株	25年３月期３Ｑ	29,884,596株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料４ページ（３）「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 ……2
（１）経営成績に関する説明 ……2
（２）財政状態に関する説明 ……3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 ……4
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 ……5
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 ……5
（２）持分法適用の範囲の重要な変更 ……5
（３）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ……5
（４）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 ……5
３．四半期連結財務諸表 ……6
（１）四半期連結貸借対照表 ……6
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 ……8
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 ……１０
(継続企業の前提に関する注記) ……１０
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) ……１０
(セグメント情報等) ……１１

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策などを背景として円安・株高が進行し、企業収益や個人消費に持ち直しの動きが見られるなど、景気は緩やかな回復基調となりました。しかしながら、海外景気の下振れリスクや、消費税率引上げに伴う駆け込み需要およびその反動による消費マインドの冷え込み懸念など、先行きは依然として不透明な状況となっております。

靴業界におきましては、新たな異業種の参入や通販、ネット販売の増加などにより競争が激化している状況のなか、個人消費につきましては景気回復の期待感もあり、品質や付加価値の高い商品や値ごろ感のあるカジュアルシューズが売上を伸ばしました。一方で、原材料価格の高騰や円安による調達コストの上昇を踏まえ、特恵受益国への生産拠点のシフトや、商品価格の値上げなども見られました。

このような環境のなか、当社グループは、ブランド特性に応じた販売チャネル別の営業体制の下で、店頭売上を重視した営業活動を展開し、主力である「リーガル」は、「信頼・信用」の代表ブランドとして競争力と付加価値の高い商品の開発・提案を行ってまいりました。また顧客ニーズに対応したカジュアル・コンフォート商品の開発強化や、店舗開発などに注力するとともに、海外調達の生産拠点を特恵受益国へ徐々にシフトし調達コストの抑制を図るなど、売上総利益率の改善にも取り組んでまいりました。

この結果、当第３四半期連結累計期間の売上高は27,097百万円(前年同四半期比2.3%増)、営業利益は2,296百万円(前年同四半期比14.0%増)、経常利益は2,502百万円(前年同四半期比3.9%増)となりました。四半期純利益におきましては1,123百万円(前年同四半期比31.7%減)の計上となりました。

なお、株式会社ニッピとの資本関係等につきましては、第３四半期連結会計期間において株式会社ニッピの株式を一部売却したことにより、持株比率が低下したため持分法適用の範囲から除外しております。共同出資会社の処理などにつきましては、今後引き続き協議を進めてまいります。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①靴小売事業

靴小売事業では、店舗業態ごとの販促企画や顧客ニーズの変化に対応した店舗改装の実施、またカジュアル・コンフォート商品や高付加価値ビジネスシューズの品揃えを充実させるなどの各種施策により売上の拡大に努めました。

ブランド・業態別では、「リーガルシューズ店」、「シューズストリート（ネット通販）」、「シェットランドフォックス店」、および「アウトレット店」が堅調に推移いたしました。

店舗施策としましては、10月以降「リーガルシューズ店」、「アウトレット店」では販促キャンペーンの内容等見直しを図った結果、景況感の好転も反映し、ビジネスシューズやカジュアルシューズを中心に売上増加に貢献いたしました。また、「リーガルシューズ店」においては各エリアの主要店舗を中心に、パターンオーダー受注会等の個店販促を実施し、同業他社との差別化と顧客ニーズの多様化に対応いたしました。

当第３四半期連結累計期間の店舗施策につきましては、リーガルシューズa.k.aイオンモール幕張新都心店など計６店舗を新規で出店し、リーガルシューズ藤沢店など計３店舗を改装するとともに、不採算店舗７店舗を閉店するなど、店舗運営の効率化を図りました。（直営小売店の店舗数134店舗、前年同四半期末比１店舗減）

この結果、当第３四半期連結累計期間の売上高は12,574百万円（前年同四半期比1.9％増）、営業利益は939百万円（前年同四半期比9.9％増）となりました。

②靴卸売事業

靴卸売事業では、店頭売上を重視した営業活動を推進し、顧客ニーズに対応した競争力と付加価値の高い商品提案に注力するとともに、業態ごとのオリジナルアイテムの開発や売場提案を行い、取引先に対し当社商品による囲い込み施策等を展開いたしました。

紳士靴は、景況感の好転も反映し品質や付加価値の高い、中・高価格帯商品の動向が良く、商品単価も上昇傾向にあります。その中でも主力ブランドである「リーガル」を中心に、ビジネスシューズの売上が堅調で、特に昨年7月から販売を開始した新機能「エアローテーションシステム」搭載の商品についての評価が高く、順調に市場に浸透し始めております。また履き心地を重視した「リーガルウォーカー」につきましては、新たにサンダルやアウトドア・コンフォート等、対象顧客のライフスタイルや生活シーンを想定した新しいカテゴリーの商品提案等を行い、売上増加に貢献いたしました。

婦人靴は、春先からの天候不順の影響で店頭でのサンダルの動向が例年に比べ遅れましたが、秋冬シーズンに入るとショートブーツ、ブーティを中心に季節商材が好調に推移いたしました。主力ブランドである「リーガル」は、パンプス系の動向が鈍く苦戦いたしましたが、紳士靴同様に「リーガルウォーカー」については、「軽さと履き心地」が顧客に支持を受け、百貨店を中心に取扱い店舗数が順調に増加し、大きく売上を伸ばしました。

また、百貨店婦人靴売場への新しい売場提案施策である「マホガニーチェスト」を新たに２店舗で展開し、計８店舗となりました。

この結果、当第３四半期連結累計期間の売上高は14,374百万円（前年同四半期比2.8％増）、営業利益は1,354百万円（前年同四半期比21.2％増）となりました。

③その他

不動産賃貸料の収入など、その他事業の当第３四半期連結累計期間の売上高は256百万円（前年同四半期比13.0％減）、営業損失は16百万円（前年同四半期営業利益36百万円）となりました。

（２）財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第３四半期連結会計期間末における総資産は、29,914百万円となり、前連結会計年度末に比べ211百万円減少いたしました。これは主に、投資有価証券の減少1,824百万円、受取手形及び売掛金の減少611百万円、現金及び預金の増加1,679百万円、商品及び製品の増加382百万円などによるものであります。

当第３四半期連結会計期間末における負債は、17,413百万円となり、前連結会計年度末に比べ437百万円減少いたしました。これは主に、未払法人税等の減少553百万円、長期借入金の減少315百万円、賞与引当金の減少262百万円、支払手形及び買掛金の増加594百万円などによるものであります。

当第３四半期連結会計期間末における純資産は、12,501百万円となり、前連結会計年度末に比べ225百万円増加いたしました。これは主に、その他有価証券評価差額金の増加1,104百万円、利益剰余金の減少990百万円などによるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、当第３四半期連結累計期間までの業績動向を踏まえ、平成25年８月２日に公表いたしました平成26年３月期の通期業績予想を修正いたします。

詳細につきましては、本日（平成26年２月４日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）持分法適用の範囲の重要な変更

当第３四半期連結会計期間において、株式会社ニッピの株式を一部売却したことにより、持分比率が低下したため持分法適用の範囲から除外しております。

（３）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（４）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

４．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成25年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,268	4,947
受取手形及び売掛金	6,397	5,786
商品及び製品	5,973	6,355
仕掛品	217	232
原材料及び貯蔵品	535	599
その他	1,387	1,704
貸倒引当金	△296	△296
流動資産合計	17,483	19,328
固定資産		
有形固定資産		
土地	2,290	2,290
その他（純額）	2,297	2,254
有形固定資産合計	4,588	4,545
無形固定資産		
のれん	19	4
電話加入権	25	25
ソフトウエア	13	6
その他	1	1
無形固定資産合計	60	37
投資その他の資産		
投資有価証券	5,304	3,480
敷金及び保証金	1,417	1,354
その他	1,475	1,371
貸倒引当金	△202	△202
投資その他の資産合計	7,994	6,003
固定資産合計	12,643	10,586
資産合計	30,126	29,914

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成25年12月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,971	4,565
短期借入金	4,466	4,404
未払法人税等	857	303
賞与引当金	498	235
役員賞与引当金	31	26
ポイント引当金	437	449
店舗閉鎖損失引当金	1	－
移転関連損失引当金	－	221
その他	1,746	2,033
流動負債合計	12,010	12,240
固定負債		
長期借入金	994	678
退職給付引当金	3,163	3,085
移転関連損失引当金	221	－
資産除去債務	190	192
その他	1,270	1,215
固定負債合計	5,840	5,172
負債合計	17,850	17,413
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,355	5,355
資本剰余金	690	662
利益剰余金	5,613	4,622
自己株式	△418	△193
株主資本合計	11,241	10,447
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	338	1,443
繰延ヘッジ損益	0	－
土地再評価差額金	611	454
為替換算調整勘定	△6	54
その他の包括利益累計額合計	944	1,952
新株予約権	30	29
少数株主持分	59	72
純資産合計	12,275	12,501
負債純資産合計	30,126	29,914

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年12月31日）
売上高	26,500	27,097
売上原価	14,183	14,369
売上総利益	12,317	12,727
販売費及び一般管理費	10,301	10,431
営業利益	2,015	2,296
営業外収益		
受取利息	12	13
受取配当金	21	24
持分法による投資利益	350	163
物品売却益	25	23
雑収入	103	77
営業外収益合計	514	301
営業外費用		
支払利息	79	57
売上割引	27	32
雑支出	14	6
営業外費用合計	122	95
経常利益	2,407	2,502
特別損失		
固定資産除却損	8	33
投資有価証券評価損	0	－
投資有価証券売却損	0	118
デリバティブ評価損	－	172
持分変動損失	－	247
特別損失合計	8	572
税金等調整前四半期純利益	2,398	1,930
法人税、住民税及び事業税	711	713
法人税等調整額	37	95
法人税等合計	749	808
少数株主損益調整前四半期純利益	1,649	1,121
少数株主利益	4	△2
四半期純利益	1,645	1,123

四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	1,649	1,121
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	55	1,147
為替換算調整勘定	11	71
持分法適用会社に対する持分相当額	34	20
その他の包括利益合計	102	1,238
四半期包括利益	1,751	2,359
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,747	2,351
少数株主に係る四半期包括利益	4	8

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

株式会社ニッピを持分法適用の範囲から除外したことにより、主に資本剰余金が120百万円、利益剰余金が1,916百万円減少しております。

（セグメント情報等）

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自 平成24年４月１日　至 平成24年12月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	靴小売事業	靴卸売事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	12,341	13,978	26,320	180	26,500	―	26,500
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	114	114	△114	―
計	12,341	13,978	26,320	294	26,614	△114	26,500
セグメント利益	855	1,117	1,973	36	2,010	4	2,015

（注）１　「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸等の事業を含んでおります。
２　セグメント利益の調整額は、主にセグメント間取引消去であります。
３　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間（自 平成25年４月１日　至 平成25年12月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	靴小売事業	靴卸売事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	12,574	14,374	26,948	148	27,097	―	27,097
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	107	107	△107	―
計	12,574	14,374	2,948	256	27,204	△107	27,097
セグメント利益又はセグメント損失（△）	939	1,354	2,294	△16	2,278	17	2,296

（注）１　「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸等の事業を含んでおります。
２　セグメント利益の調整額は、主にセグメント間取引消去であります。
３　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。